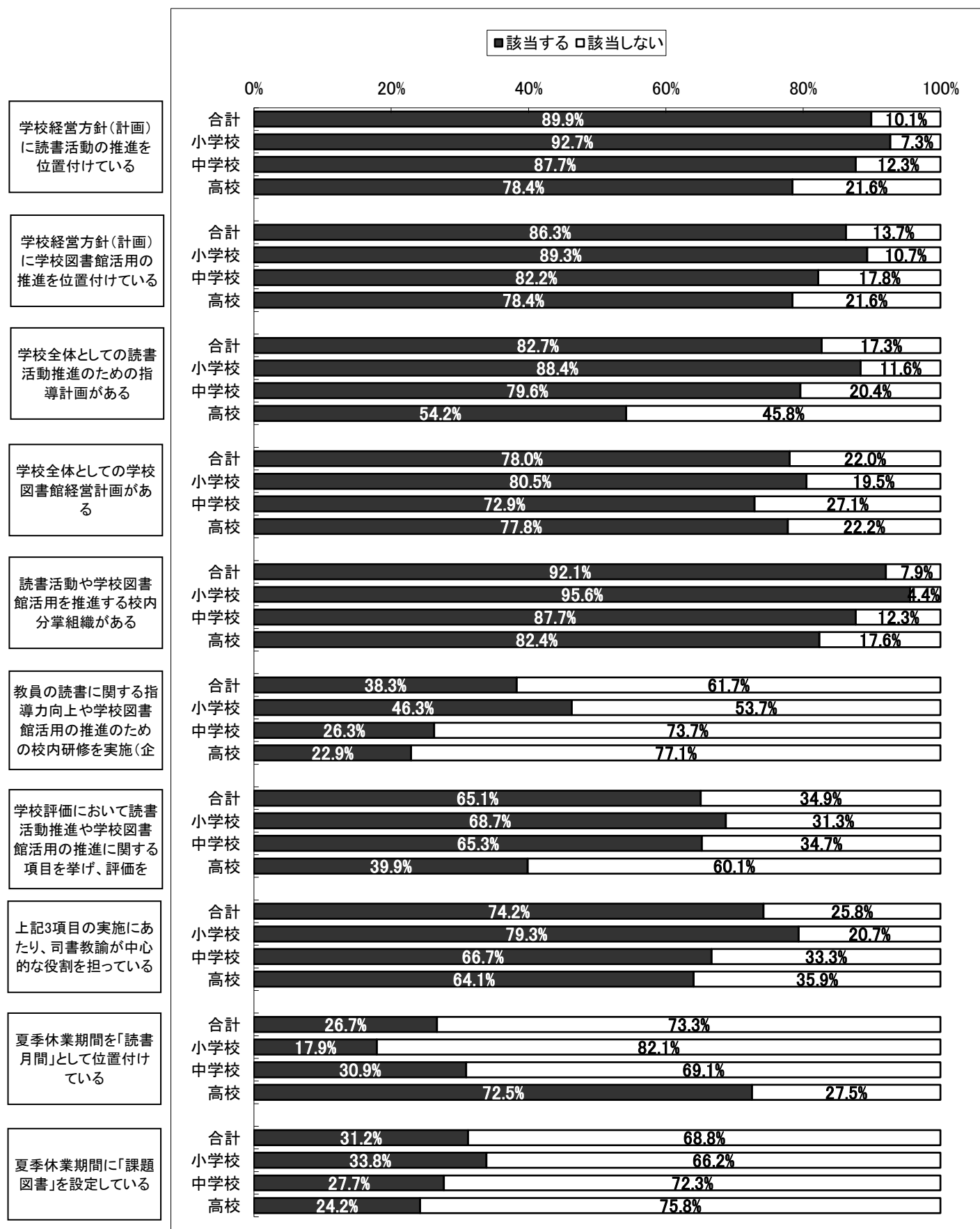


令和6年度 【調査2】学校における読書活動等に関する取組状況の調査結果

1. 学校としての読書活動等の推進

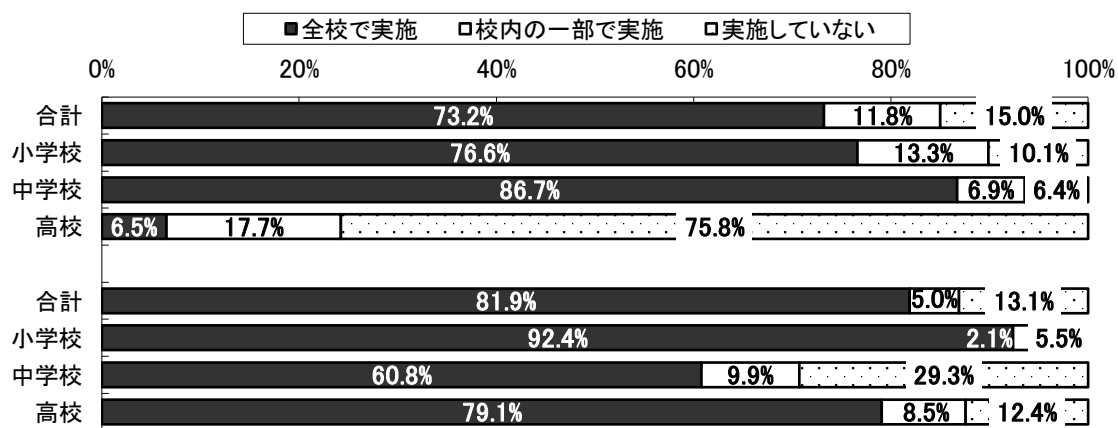


2. 読書時間の確保

※教科及び総合的な学習(探究)の時間で実施しているものを除く。

朝や昼休み等に
読書時間を設定し
ている

「読書週間」「読書
月間」等を設けて
いる



3. 読書指導の充実

教師や生徒(児童)
による読み聞かせを
実施している

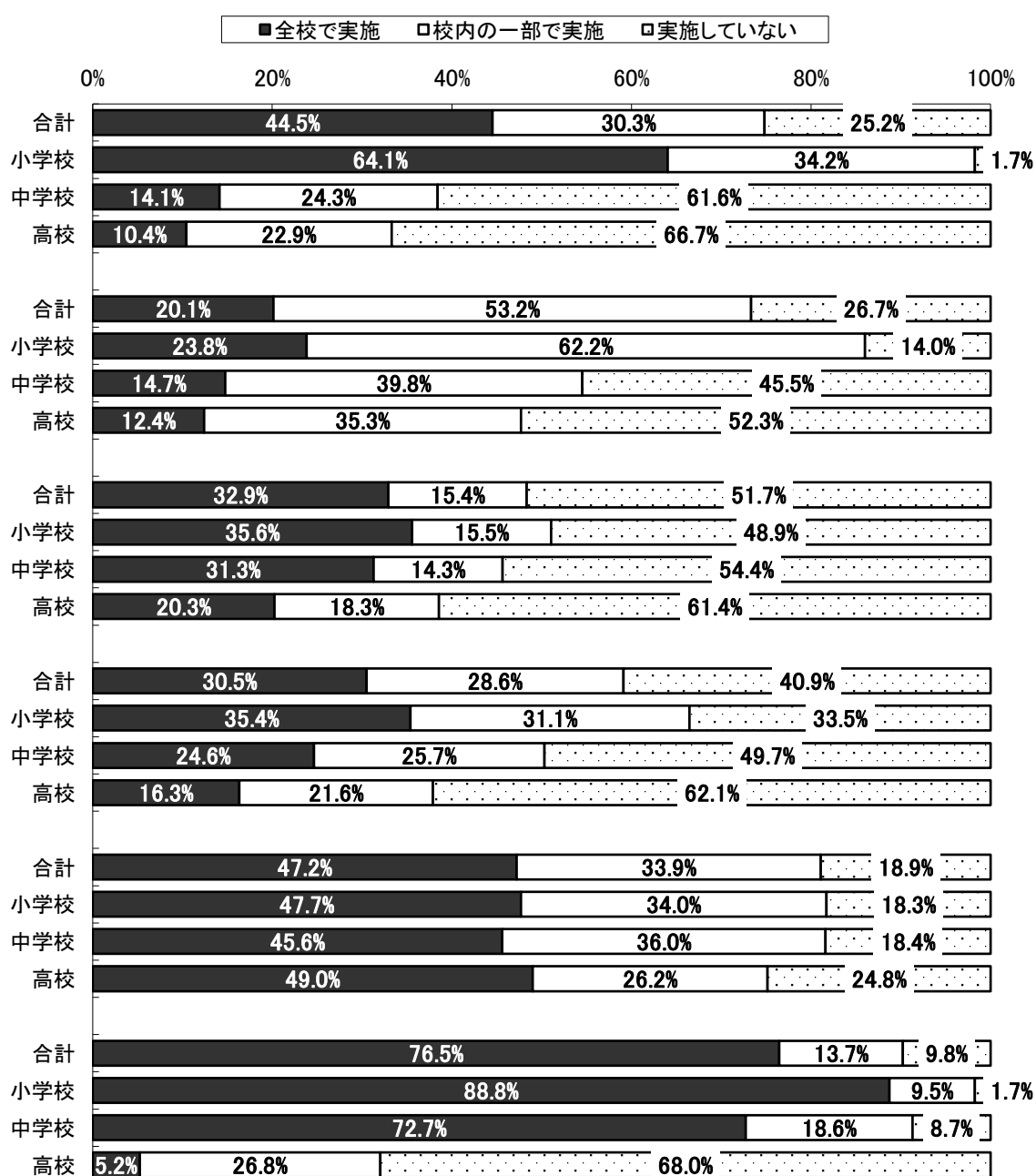
学級活動等で読書
会等、本を読んで
思ったことを伝える
場を設けている(ビブ
リオバトルを除く)

独自の「課題図書」
等のリストを作成し
ている(夏季休業期間
中を含む)

読書指導の資料・教
材を作成し、校内で
組織的に活用してい
る

教師の推薦図書を
冊子や授業等で生
徒(児童)に紹介して
いる

学級文庫を設置して
いる



4. 各教科、特別活動、総合的な学習の時間における学校図書館の利用の位置付け(学校数)

★小学校

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	道徳	外国 語 活動	総合	特別 活動	その他	どの教科 でも利用 していない
1 学年	986		45		715	33	142		31	119			209	111	2
2 学年	985		48		709	33	140		31	118			206	110	1
3 学年	986	665	55	476		37	139		33	118		850	219	106	1
4 学年	986	688	54	469		38	138		35	110		856	224	107	1
5 学年	987	719	55	459		44	164	113	45	119	81	865	264	117	2
6 学年	982	712	56	462		43	162	119	46	117	84	867	266	118	1

★中学校

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国 語	道徳	総合	特別 活動	その他	どの教科 でも利用 していない
1 学年	420	143	24	65	38	64	40	44	51	50	379	183	57	14
2 学年	402	137	23	60	34	63	40	42	51	49	377	182	54	15
3 学年	392	134	24	59	35	61	37	47	51	47	375	181	55	17

★高等学校(全日制)

	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国 語	家庭	情報	専門 教科	学校 設定 教科	総合	特別 活動	どの教科 でも利用 していない
1 学年	67	16	11	2	7	20	15	13	11	2	13	10	54	28	3
2 学年	63	15	12	2	8	22	19	14	16	3	13	16	58	26	5
3 学年	48	15	9	2	7	9	12	11	17	4	14	17	40	22	8

★高等学校(定時制・通信制)

	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国 語	家庭	情報	専門 教科	学校 設定 教科	総合	特別 活動	どの教科 でも利用 していない
1 学年	16	7	10	2	4	5	4	3	4	2	4	3	9	6	1
2 学年	17	13	8	1	1	6	4	3	7	2	4	3	11	6	0
3 学年	18	14	8	1	1	3	4	3	6	2	4	4	10	7	0
4 学年	12	8	4	0	1	1	2	2	3	1	4	2	6	4	2

★特別支援学校小学部(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病虚弱)

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	道徳	外国 語 活動	総合	特別 活動	各教科 を合わ せた指 導	その他	どの教科 でも利用 していない
1 学年	20		5		3	1	4		1	1			10	22	7	2
2 学年	20		6		1	1	3		1	1			10	21	7	2
3 学年	22	7	5	5		1	6		1	2	1	8	12	24	8	1
4 学年	23	7	5	5		1	5		1	2	2	7	10	24	8	1
5 学年	24	7	7	5		1	6	1	1	2	1	10	10	23	8	2
6 学年	22	6	5	4		1	4	0	1	2	1	7	11	23	8	1

★特別支援学校中学部(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病虚弱)

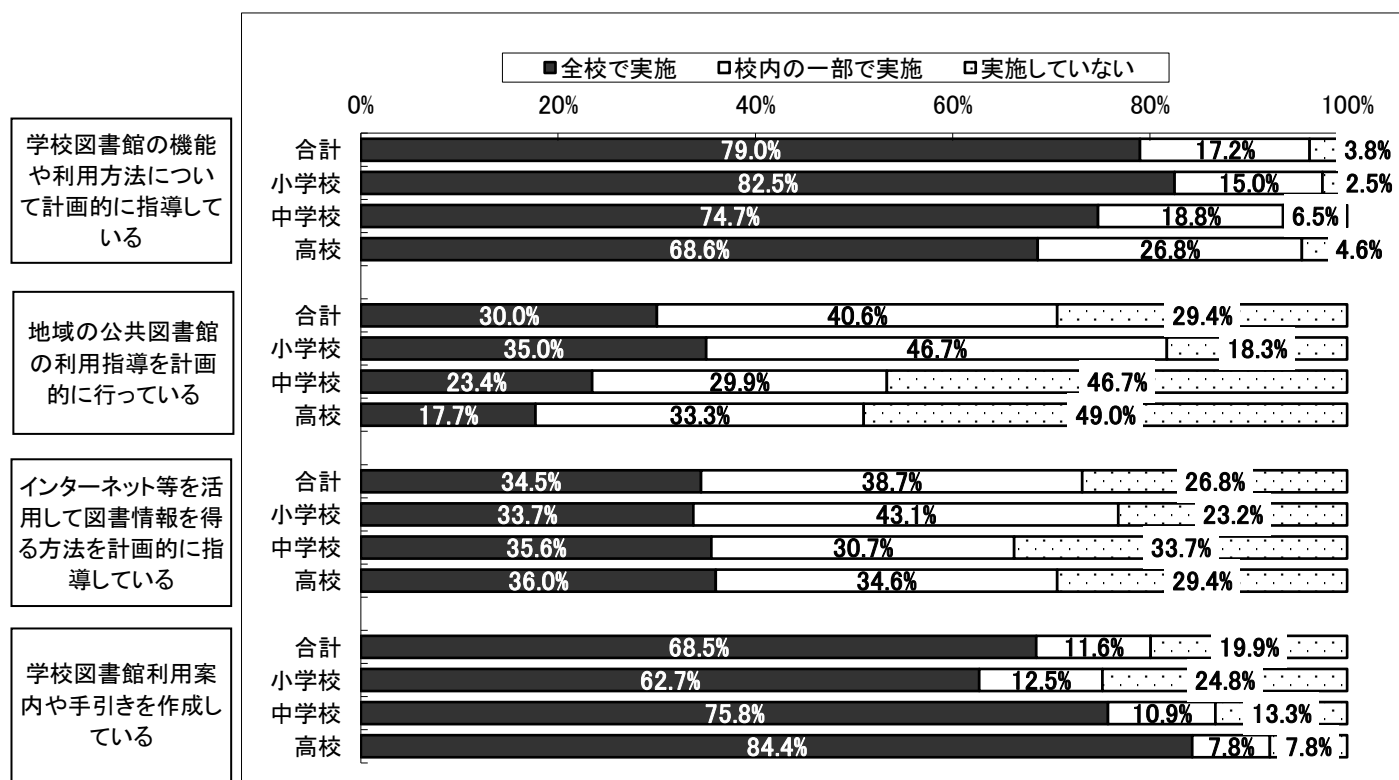
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国 語	道徳	総合	特別 活動	各教科 を合わ せた指 導	その他	どの教科 でも利用 していない
1 学年	18	3	3	2	2	3	2	1	2	1	11	7	20	11	2
2 学年	19	4	3	3	2	3	2	1	3	2	11	6	19	11	2
3 学年	19	3	3	2	2	3	2	1	2	1	11	7	19	12	2

★特別支援学校高等部(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病虚弱)

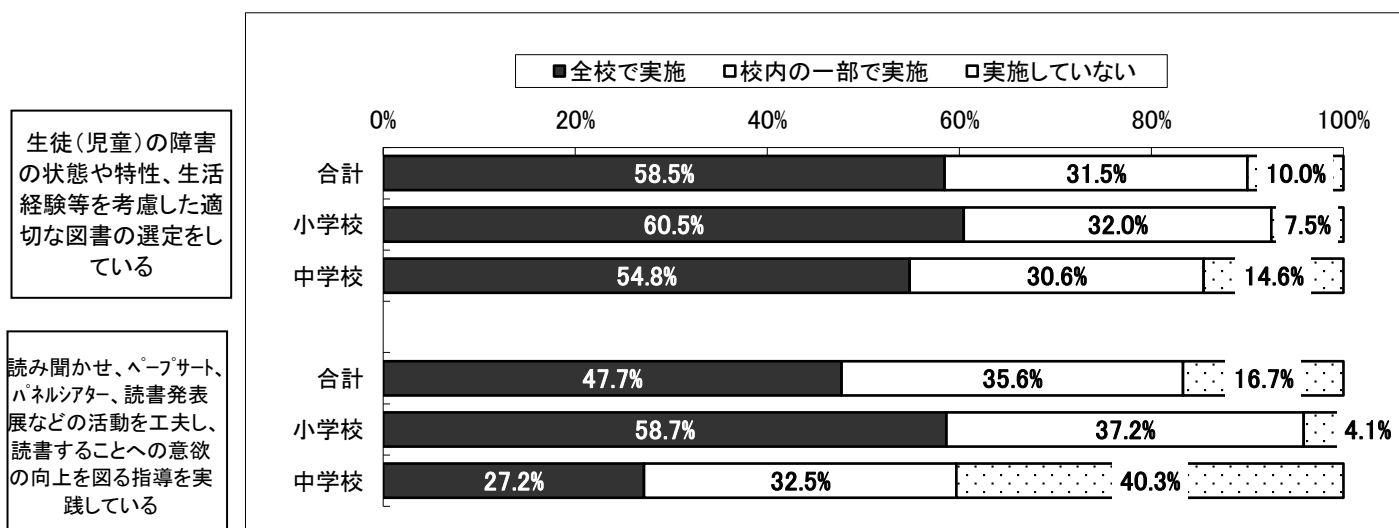
	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国 語	家庭	情報	専門 教科	学校 設定 教科	総合	特別 活動	各教科 を合わ せた指 導	どの教科 でも利用 していない
1 学年	29	7	5	3	6	3	4	3	5	3	2	1	15	17	14	1
2 学年	29	7	5	3	7	3	3	3	3	3	2	1	14	16	14	0
3 学年	29	6	3	3	5	3	4	5	2	2	2	2	13	16	13	0

※「総合」：高等学校及び特別支援学校高等部では総合的な探究の時間、それ以外では総合的な学習の時間

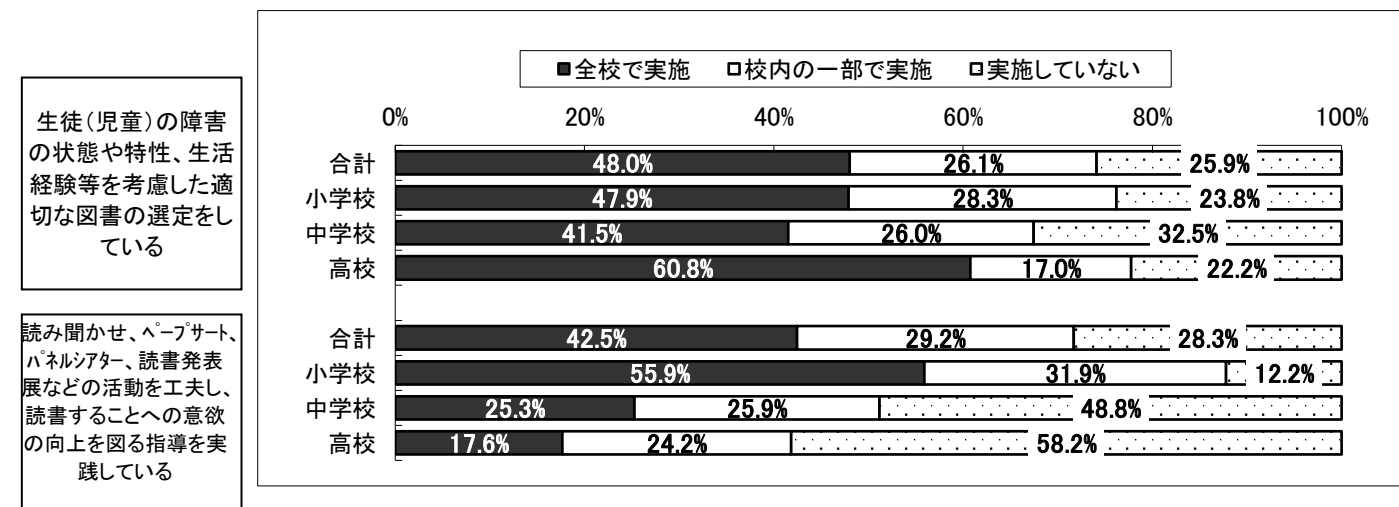
5. 学校図書館及び公共図書館の利用指導の充実



6. 障害に配慮した読書活動の充実(ア. 校内に特別支援学級を設置している場合)



6. 障害に配慮した読書活動の充実(イ. 校内に特別支援学級を設置していない場合)



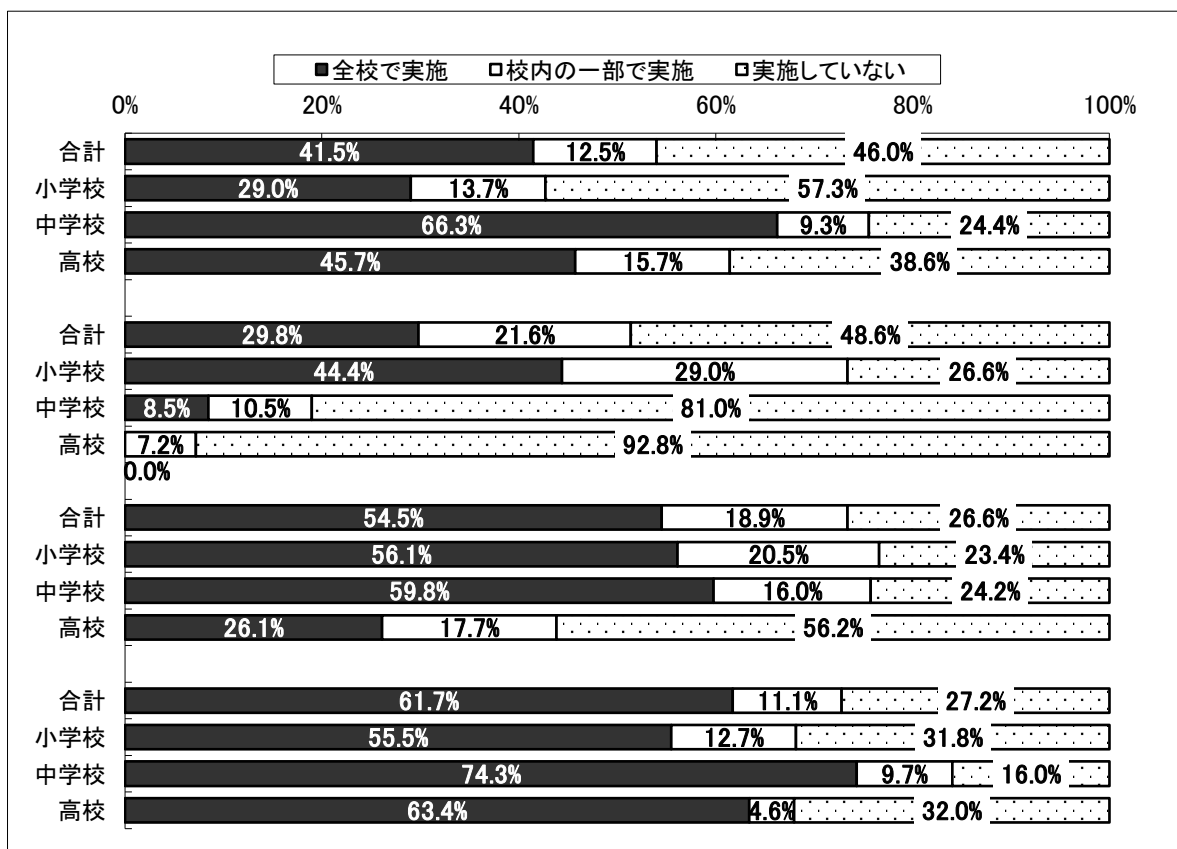
7. 図書委員会の活動の充実

図書委員が作成した「図書だより」等を活用した読書指導を行っている

図書委員による読み聞かせを実施している

学校図書館の利用について図書委員が資料を作成したり、説明したりしている

学校図書館の利用状況に関する統計をとっている



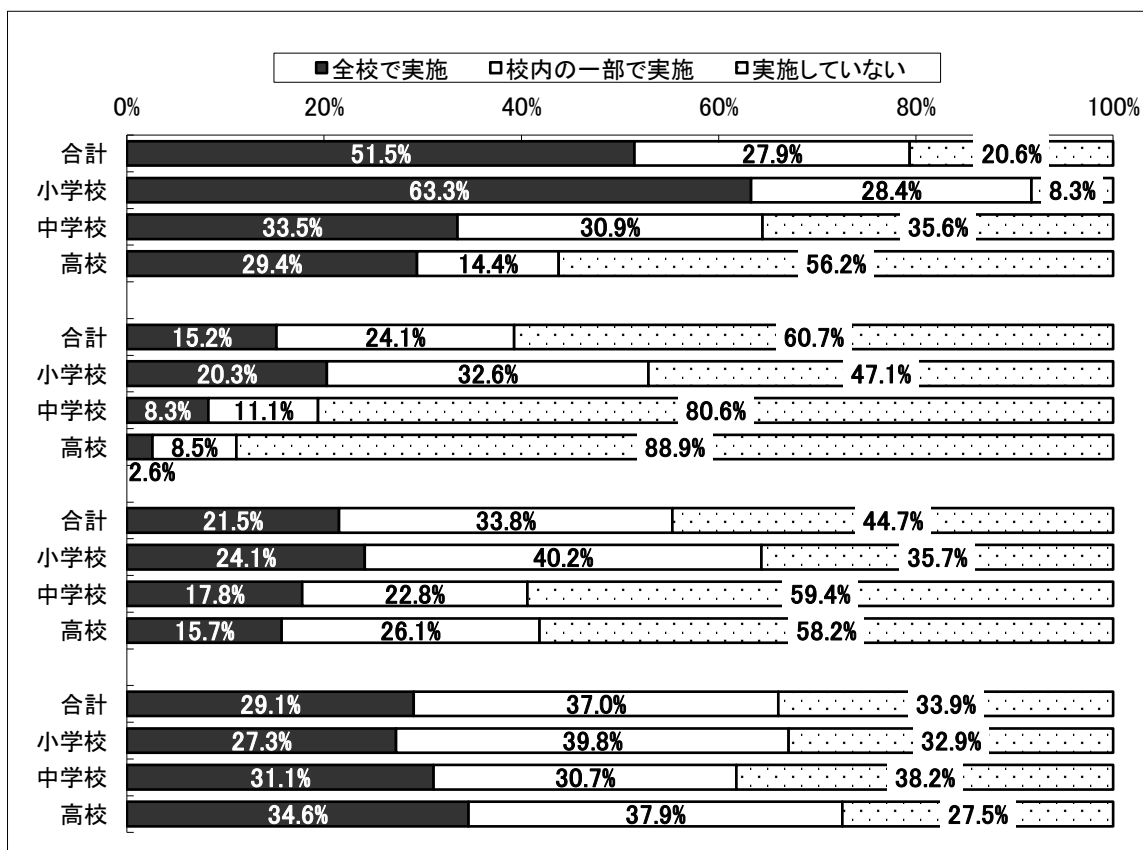
8. 地域の公共図書館との連携

公共図書館から図書資料の団体貸出しを行っている

公共図書館の担当者に学校を訪問してもらい、読み聞かせやブックトークを行ってもらっている

公共図書館のレファレンス・サービスを利用している

インターネット等を利用して公共図書館の蔵書に関する情報を得ている



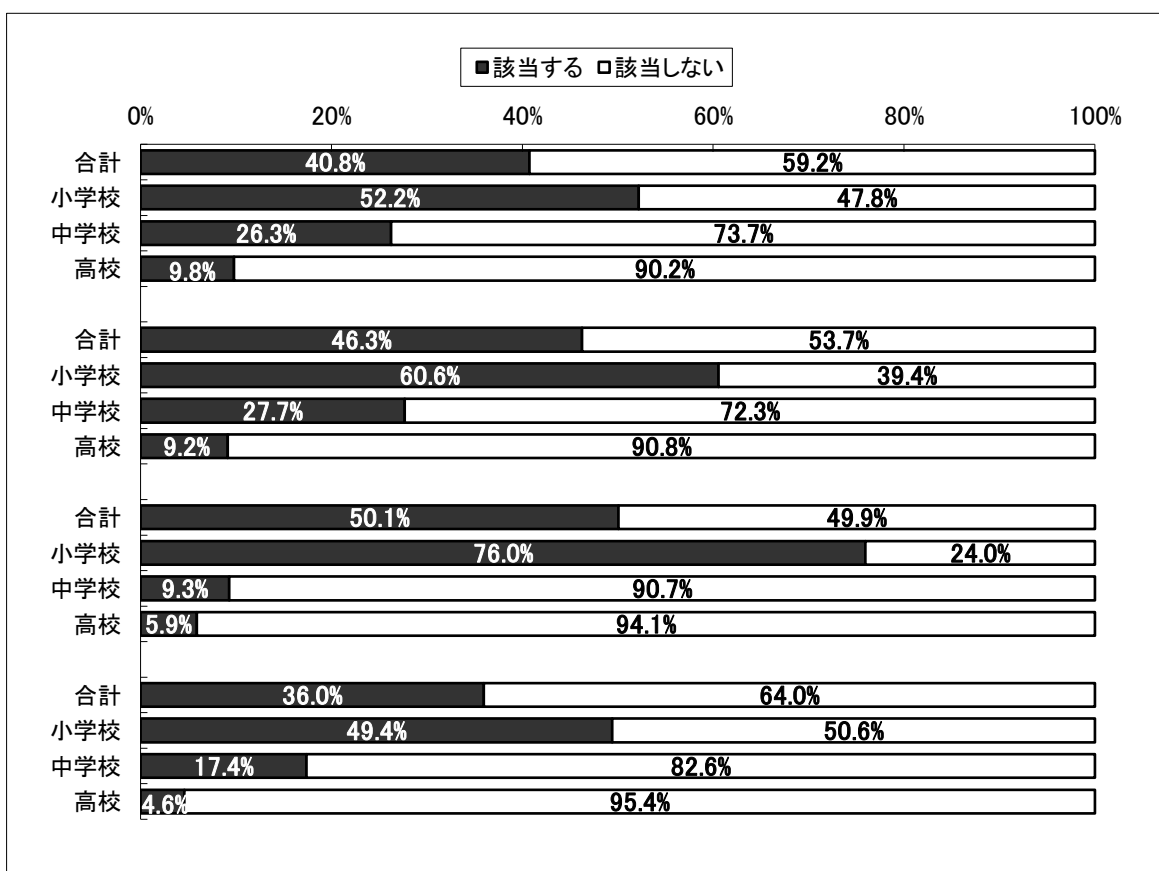
9 ボランティアの活用

ボランティアが図書の整理や貸出・返却業務など、学校図書館の運営に関する支援を行っている

ボランティアが学校図書館の書架見出し、飾りつけ、図書の修繕など、施設の整備に関する支援を行っている

ボランティアが読み聞かせやブックトークなどの読書活動の支援を行っている

ボランティアの資質向上のための取組を行っている



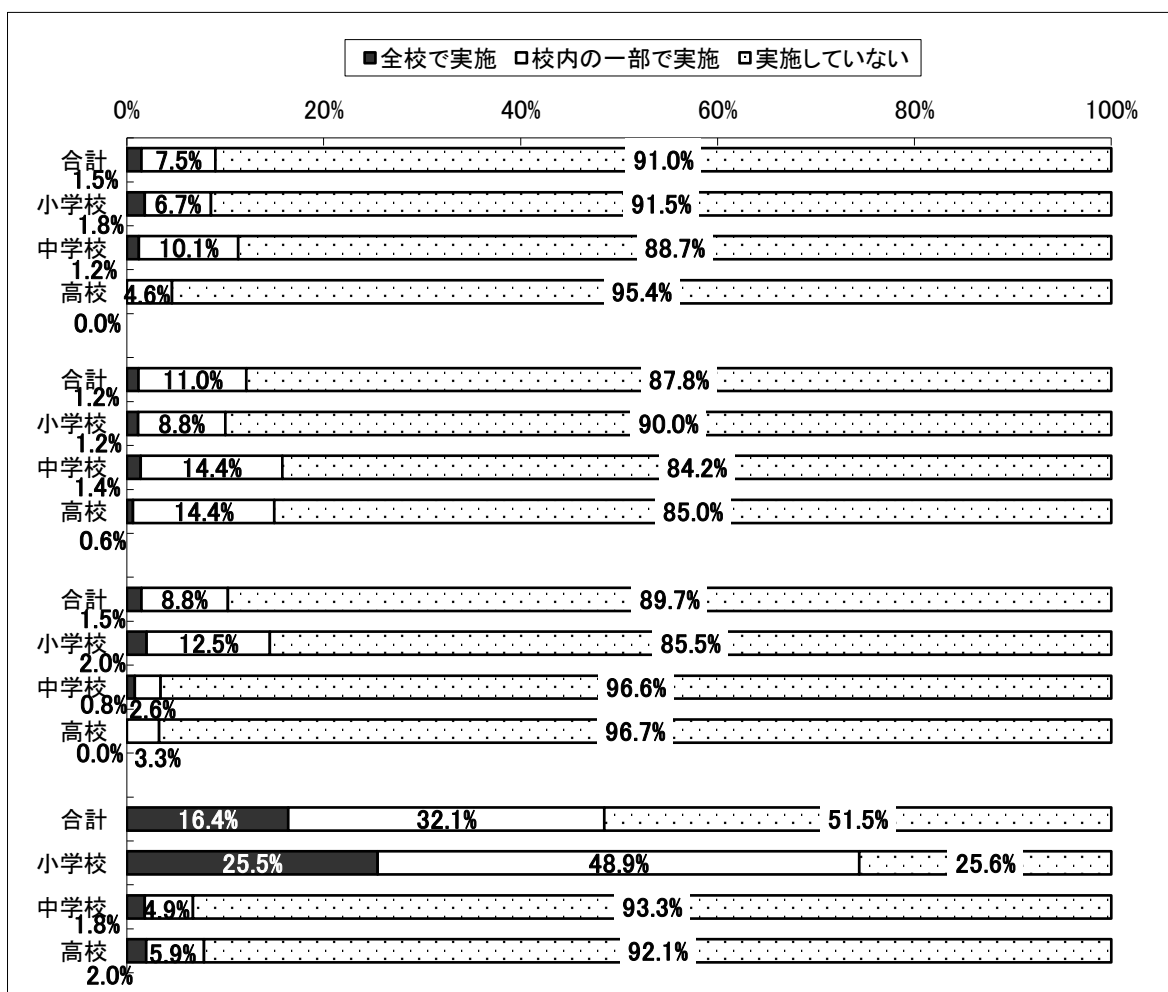
10 児童による異校種の学校、幼稚園及び保育園との連携（異年齢・異校種間交流）

異校種の学校を訪問し読み聞かせ等を実践している。（幼稚園・保育園等を除く）

幼稚園や保育園を訪問し読み聞かせ等を実施している

自校で読書会等を企画し、異校種の学校、幼稚園や保育園の子供を招いたりしている

同じ校内で上級生が下級生に読み聞かせ等を行っている

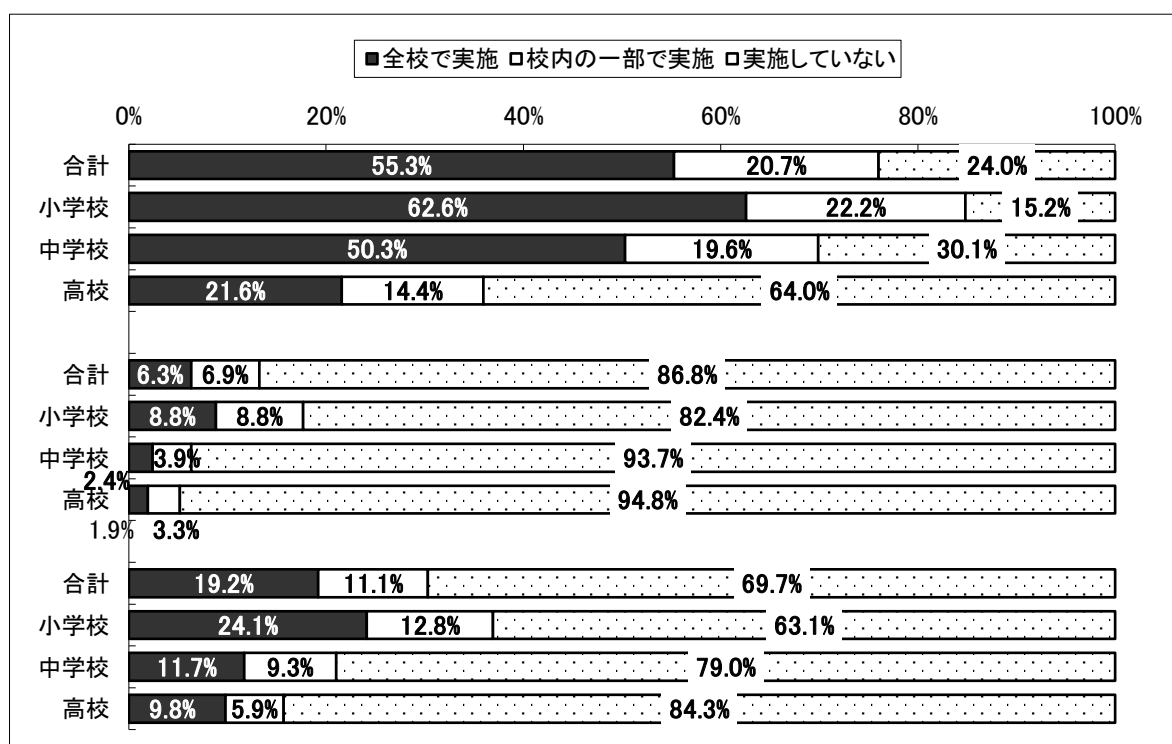


11 家庭への啓発

保護者会や各種通信等を通して、読書の意義を家庭に説明している

家庭における読書活動を啓発するための、講演会・研修会等を実施している

1.2以外で家庭における読書を推進するための啓発事業を実施している

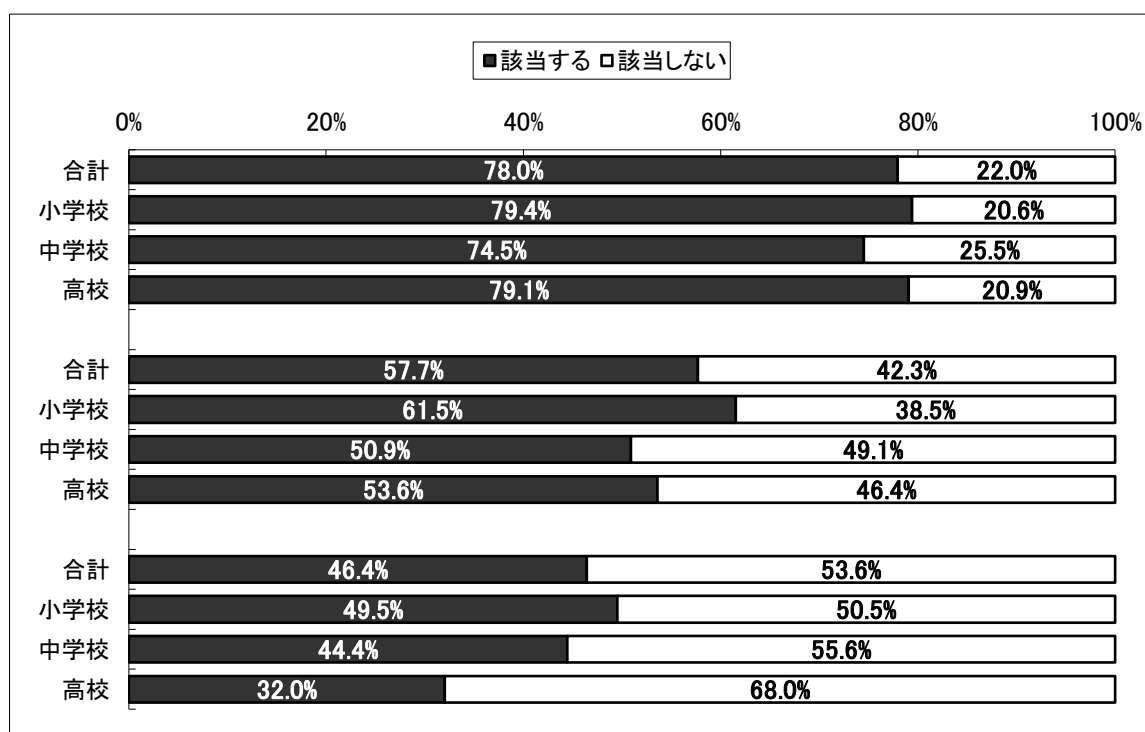


12 学校図書館運営上の課題

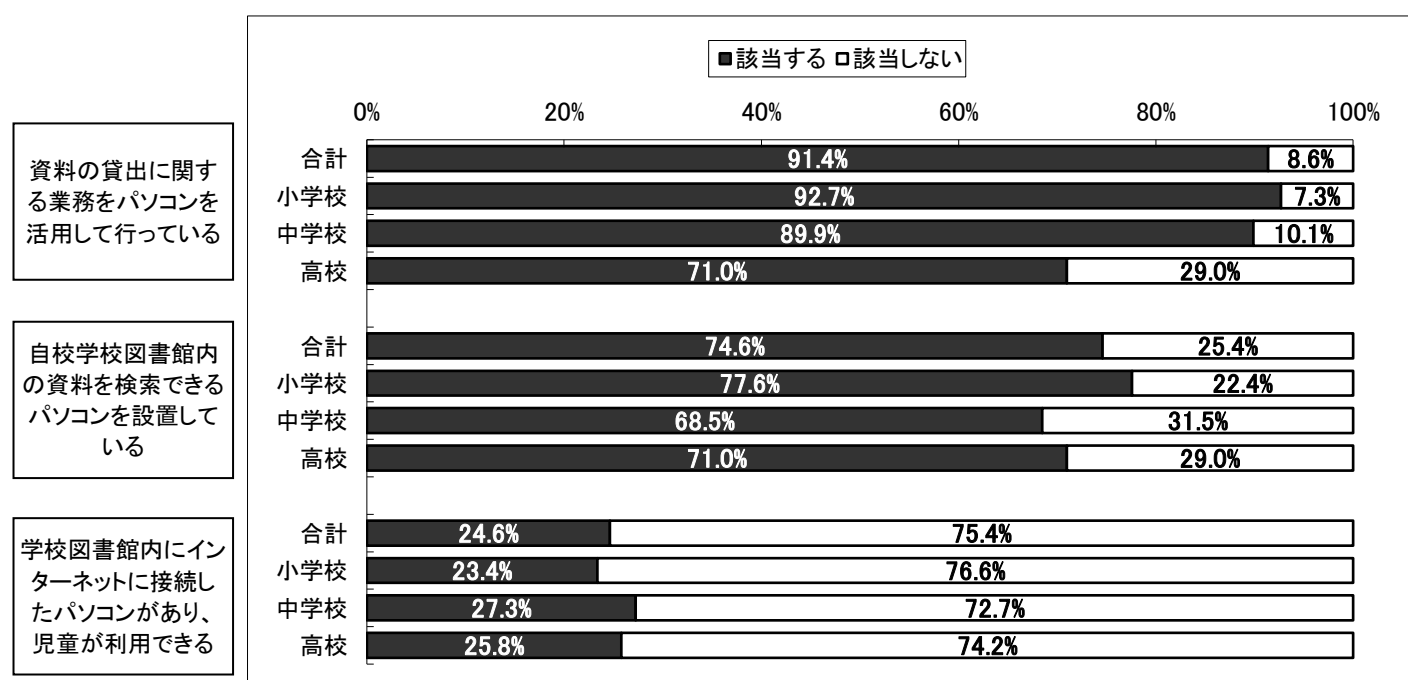
蔵書の充実

選書・図書整理のノウハウ

目録のオンライン化



13 学校図書館へのコンピュータ導入



14 貴校で実施されている特色ある取組があれば、以下にご記入ください。(自由記述)

特に、以下に関する取組がありましたら、是非ご記入ください。

- ①電子書籍や一人1台端末、高速通信環境(Wi-Fi)等のデジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組
- ②障害や日本語を母語としない等により特別な配慮を必要とする児童・生徒の読書環境整備や読書活動の取組
- ③レイアウトの工夫や子供の興味・関心を高めるためのコーナーの設置等の学校図書館リニューアルに係る取組

※以下の記述は、主なもの、特色あるものを抜粋・整理したものです。ぜひ、異なる校種の取組も御覧ください。

【小学校】

①デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

- ・全校児童が一人1台端末で電子図書館を利用できるようになっており、図書館の割当時間外でもすぐに読書ができる。
- ・総合的な学習や国語、社会、理科などの調べ学習で、電子書籍や電子版百科事典を使っている。朝読書以外で、電子書籍を活用。
- ・市の公共図書館のオンラインサービスを児童の端末に紐づけて活用を図っている。
- ・一人1台タブレットより校内の学習センターの蔵書検索や貸し出し状況の確認ができる。
- ・一人1台端末で市の電子と図書館を利用できるようになっている。
- ・一人1台端末を使った読書記録を高学年で取り組んでいる。
- ・一人1台端末を活用し、デジタル版読書通帳を使用している。
- ・一人1台端末を活用し、児童に購入希望図書のアンケートをとり、選書に生かしている。

②特別な配慮を必要とする児童・生徒の読書環境整備や読書活動の取組

- ・日本語を母語としない児童に対して、教科書に載っている題材の本を集めている。(英語・中国語等)
- ・英語、中国語で書かれた絵本の配架。
- ・相談室に定期的に本の貸出し設置をしている。母語の国の絵本を紹介したり、学校に関連する言葉の言い方が五ヶ国語で載っている本を購入し日本語の話せない児童がいるクラスに設置したりしている。絵本を読む活動では、読めない子については読み聞かせ動画等を活用しつつお話に興味をもってもらうようにしている。
- ・「りんごの棚」(バリアフリー図書)の設置。「DAISY」利用のため、環境整備。
- ・リーディングトラッカーの設置
- ・音声読み上げソフトを使い、特別支援の児童に個別最適な環境を作っている。
- ・本校に設置されている「目の教室」の児童や弱視の理解のために、点字の本を選書した。

③レイアウトの工夫等学校図書館等のリニューアルに係る取組

- ・図書委員を中心に、図書室をどんな風にしたいかを考えさせた。そのうえで、できることから始めた。まずは、マットを敷いた。市の特色ある取組に申し込み、移動可能な机などを要望した。
- ・時事ニュースや校長講話などに関連した書籍を扱うコーナーを設け、子供たちの興味関心を高めている。
- ・図書委員会の児童が紹介した本のコーナーを設置。
- ・学校に派遣されている図書館指導員の協力のもと、新聞記事に関連する書籍を入口付近に設置している。
- ・地域のリハビリテーション施設のお年寄りに、図書室の季節に合わせた飾りつけをお願いしており、児童が図書室に楽しく来室できる環境づくりをしている。
- ・時期に合わせた特別コーナーの設置(オリンピック特集・障害者週間等)
- ・季節や行事に関する本、図書委員会の児童が薦める本などを並べたコーナーを設置し、児童の読書への興味・関心を高める取り組みを年間を通して実施している。
- ・図書室前に、季節に合った本や詩などの掲示物、学習内容に関連する本、職員のおすすめ本などの展示をしている。
- ・毎月のおすすめの本のコーナー設置や、低学年児童にも本が手に取りやすいように配架位置を下げるなどの工夫をしている。
- ・新しく購入した本を図書室前方に設置して子供が手に取りやすい工夫をしている。
- ・教科書で紹介されている本を、学年別に特別配架している。学年ごとにおすすめ本20冊を設定し、読破した児童は図書室前掲示の本の木に名前が掲載される。
- ・図書館内に畳スペースを設置して、読書環境の充実を図っている。
- ・図書館を拡大し、読書活動と探究活動のスペースを分けて快適に読書ができるようにした。(カーペットを敷いたり、ソファを置くなど)
- ・リラックススペースの設置
- ・〇〇市のコーナーを作って、〇〇市の本を集めて置き、郷土のついで理解を深める取組を行っている。
- ・低学年でも読めるコーナー設置。読書に関心をもつような図書クイズの作成と掲示。つまみ食い読書として、心に響く文章の抜粋と掲示。
- ・教員の推薦本を掲示、今授業で扱っている単元にまつわる本のコーナーづくり。
- ・国語の教科書に載っている文章の原作等を置くコーナーを設けている。
- ・図書委員による月ごとのおすすめ本の提示、紹介コーナーの設置。
- ・図書の調べ学習で賞を受賞した取組を紹介したり、図書ボランティアによる取り組み、図書委員会の活動記録を紹介するコーナーが校舎内にある。
- ・図書室の壁面に季節にあった詩の掲示をしている。春夏秋冬で掲示を新しくしている。
- ・〇区ゆかりの人物についてのコーナーなどを設置している。
- ・正面玄関奥に書棚を設置し、SDGsなど、定期的にテーマを決めて配架している。

④その他、各校の創意工夫による多様な取組

＜読書に取り組む機会を増やす取組事例＞

- ・読書に親しむ活動として、夏休みに親子読書を課題としている。
- ・長期休業中の居場所づくりとしての図書館開放（保護者ボランティアが可能な日のみ）
- ・保護者ボランティアによる読み聞かせ
- ・学期に1回、読書推進のイベントを保護者ボランティアが実施している。1学期は「親子読書」、2学期「読書週間（朝読書、おすすめの本紹介）」、3学期に一齐読書週間、先生たちのおすすめの本紹介を実施している。
- ・低・中・高学年ごとに課題図書を設定している。
- ・調べる学習コンテストを利用して、本を使った調べ学習の経験を積ませている。
- ・親子読書週間を実施し、その後保護者の感想や教員のお薦めの本を紹介する親子読書通信の全家庭配布

＜児童の読書への興味関心を高める取組事例＞

- ・様々なジャンルの本に親しめるよう、図書委員が、数冊の本を1パックにし、内容が見えないように貸し出す「ミステリーパック」を貸し出す取組をしている。
- ・「1箱図書館」という1枠にテーマに沿った本を置くコーナーの設置
- ・読書週間には、栄養士と司書が連携し、図書の内容に関する献立で給食を提供している。その際、給食保健委員会が本と給食の紹介をしている。
- ・物語に出てくる食べ物を給食とコラボして献立に入れている。
- ・図書委員による、おすすめ図書の紹介ポップや動画の作成・展示。
- ・5、6年生によるおすすめポスターの掲示
- ・図書委員会による読書週間イベント（図書館ラリー、図書館クイズ、放送による読み聞かせなど）、図書ボランティアさんによる読書習慣イベント（パネルシアター、スイミー読書カードなど）
- ・年間100冊を達成した児童の表彰
- ・全校統一の読書記録カードを付け、目標達成者に読書パスポートを贈呈している。
- ・梅雨の時期に「あじさい読書」（読み聞かせで紹介された本、友達から紹介された本、課題図書などを読み、あじさいの花が描かれたカードに色を付け、花を咲かせる）を実施している。
- ・図書委員によるスタンプラリー等のブックフェアを充実させている。
- ・異学年からの本の紹介カード
- ・1～9類の本を読めるようにするためのビンゴカード

【中学校】

①デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

- ・市の図書館の電子図書を利用できる。
- ・一人1台タブレットから図書室の本を検索できる。
- ・電子図書館を運用し、英語多読や探究参考図書、悩みに関する電子書籍や生徒の成果物を掲載している。
- ・契約しているオンラインデータベースにも電子書籍が搭載されていて、授業や課題図書、自由読書で活用されている。
- ・WebOPAC上に課題等の調べ方ガイドを掲載したり、予約ができるようにしている。
- ・Teams上に図書館及び図書委員会のチームを開設し、図書館からの情報提供や委員会活動の活性化を図っている。
- ・電子書籍はバリアフリーにも対応しており、多様な生徒の読書に対応可能になっている。
- ・WiFi完備による授業活用
- ・タブレット端末を活用した資料（図書だより、図書館インフォメーション）を全校生徒向け配信
- ・1年生国語の授業にて、図書館支援員と国語科教員でポップの作成指導。書字識字に困難がある等、特別な配慮を要する生徒を配慮し、一人一台端末（タブレット）でポップを作成。
- ・読書記録を個々の生徒がタブレット型端末で入力できるようにしている
- ・生徒会を中心に運営する学校サイト内に図書委員会のコーナーを設けて、読書広報活動等を行っている。
- ・どこからでも、図書館に繋がることができるように、学校のホームページの中に学校図書館のページを作って、カーリルで校内の蔵書を検索したり、市立図書館や都立図書館にリンクを貼ってアクセスできるようにした。
- ・中学1年生を対象に、地域の図書館司書が学校を訪問してくれ、区独自の取組の電子書籍を自由に閲覧できるシステムの使い方を説明してくれる。

②特別な配慮を必要とする児童・生徒の読書環境整備や読書活動の取組

- ・特別支援学級の学級文庫用に、生徒の興味に合わせた本の貸し出しを行う
- ・ディスレクシアなど読み書きが困難な生徒の読書支援として、リーディングループの設置やリーディングトラックの作成・配布を行っている
- ・マルチメディアDAISYの導入
- ・外国籍の生徒が入学した際に、日本語支援関連書籍を追加購入
- ・日本語指導教室に日本の漫画等の外国語版を置いている。
- ・障害や日本語を母語としない生徒にも配慮した選書をしている
- ・日本語を母語としない生徒には、日本語習得を目指した「やさしい日本語」の本を貸し出している。
- ・中国語、韓国語の書籍購入
- ・絵本の一部を日本語版と英語版の両方そろえている。

③レイアウトの工夫等学校図書館等のリニューアルに係る取組

- ・朝読書の推進のため、朝読書におすすめの本をまとめたワゴンを用意している。
- ・図書室が校舎の端にあり来館にくいので、各学年のフロアに移動図書コーナーを設置して貸し出している。
- ・季節や学校行事と関連させながら、特設コーナーを作るなどして、生徒が様々な本に興味を持つ機会としている。
- ・入ってすぐの場所に特設コーナーを設置して、話題の図書、行事や季節に合わせたイベント、新刊などの紹介を行なっている。
- ・月に一度コーナーを模様替えし、読書活動の推進をしています。こまめに学級文庫の内容を交換しています。
- ・様々な形態の学習場所として利用できるよう、大型モニターを複数台設置したり、小グループが座れる机を置いたりプロジェクターを設置したりして、各教科の授業に貸し出し、探究学習や、情報収集活動、小グループでの意見交換、意見発表会などに活用している。
- ・昇降口に本を展示し貸出を行う「出前図書」を実施。
- ・生徒が通いたくなる魅力的な学校図書館の実現に向けて、生徒の視線の高さや移動のしやすさなどに配慮したレイアウトの工夫をした。
- ・気軽に洋書に触れ合うことができるようにするため、エレベータホールに「洋書コーナー」を設置している。
- ・公共図書館と同様に、参考図書コーナーを設け、探究活動に取り組みやすい配架へのリニューアルを行った。

④その他、各校の創意工夫による多様な取組

<読書に取り組む機会を増やす取組事例>

- ・「人気の本総選挙」と銘打って、近隣中学校6校の生徒による、6校の「人気の本」をタブレットを使ってオンライン投票する取組。
- ・下校時の図書館への立ち寄りの許可
- ・不登校生徒が個人でも学習できるように、時間帯と曜日を設定している。
- ・調べる学習コンクールに全校生徒で取り組み、地域の図書館に行き資料を借りる、調べた内容を発表、代表生徒が全校生徒の前で発表している。

<生徒の読書への興味関心を高める取組事例>

- ・他校(日本人学校)とブックトークを実施している。
- ・区立図書館における中学生のボランティア
- ・給食メニューと図書本のコラボ
- ・タブレットを使って、本の紹介ムービーを委員会で作成し、全校に発表する取組
- ・1, 2年次に本の楽しさを伝えるためビブリオバトルを行う。
- ・生徒が作成したPOPを図書館内に展示したり、校内・外部のコンテストに出展したりすることで、生徒の読書意欲の向上を図っている
- ・図書委員会のPOP大賞は校内展示だけではなく、公共図書館にも展示され連携イベントになっている。
- ・教員がおすすめする本を「〇〇文庫」と銘打って、まとめて展示しておくコーナーを作成している。
- ・副校長による、特別支援学級への読み聞かせを毎週実施。副校長と図書委員による朗読劇の実施。
- ・学級文庫に、図書委員の選書本を入れている
- ・昼の朗読放送の実施。
- ・読書ツリーや貸出冊数表彰で生徒の意欲を高める取組
- ・夏の課題で作成した本のCMカードを、2学期に生徒が発表し合ったり、校内や公共図書館で展示したりしている
- ・図書委員会で委員会目標を作成し、掲示している
- ・年度当初に国語科と図書館司書による「図書室の利用方法」「本の扱い方」ガイダンスを実施。

【高等学校】

①デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

- ・図書館オリエンテーションや探究学習での端末活用
- ・通信や新着図書案内のTeamsへの投稿
- ・図書委員広報誌を一人1台端末を活用して共同執筆している
- ・様々なブックリストやコンテンツを掲載し、図書館HPを充実
- ・ICT機器を用いて第二学年生徒がPOPの作成を行っている。
- ・デジタル技術の活用として、生成AI体験コーナーを設置。

②特別な配慮を必要とする児童・生徒の読書環境整備や読書活動の取組

- ・学習障害等の生徒に対応するコーナーの作成(リーディングトラッカーの展示)
- ・「りんごの棚」を設置し、点字や大活字本等の「読書バリアフリー」にかかわる資料を通して理解を深める場を提供している。
- ・読書バリアフリーに関心を持ってもらうため、布本、点字本、大活字本、LL本などを展示。
- ・日本語を母語としない生徒のための展示の実施
- ・英語多読のための本をレベル別に揃えており、現在600冊程度となっている。英語の授業等で活用している。

③レイアウトの工夫等学校図書館等のリニューアルに係る取組

- ・美術科や写真部の作品を関連する本と一緒に図書館に提示することで、生徒が展示を観にくるきっかけになった。
- ・古い書架を5年間ですべて入れ替えた。広く明るい雰囲気になり、ライトノベルコーナーなどを設置できた。
- ・ブラウジングコーナーとしてのソファ席やクッションのある絵本コーナーも寛ぎながら読書ができる場所として設けている
- ・表示板のリニューアルにより、図書の探しやすい書架作りにも努めている。
- ・ボードゲームと関連図書の実践コーナーの設置
- ・通常の開架の他に「新着図書」「進路」「学習」「地域資料」「〇〇お薦め本」「〇〇な気分のときに読む本」など様々なコーナーやPOPを設置している。
- ・飲食可能な談話スペースを設け、昼休みや放課後における利用者同士の交流の場としている。
- ・新聞の切り抜き掲示、進路コーナーの充実、館内の特設コーナーを6か所くらい設け、月に2か所は必ず変更を入れている。
- ・図書館ゲート、ミニミュージアム、テンセグリティ、校歌が聴ける糸電話、脳トレ、覆面本など興味・関心を高めるコーナーを多数設置。

④その他、各校の創意工夫による多様な取組

＜読書に取り組む機会を増やす取組事例＞

- ・校内読書会、近隣の都立高校との合同読書会
- ・クラスごと、全校生徒を学校図書館に連れてきて読書をさせる取り組みを年2回、行事計画に設定、実施している。

＜生徒の読書への興味関心を高める取組事例＞

- ・図書委員会による文化祭映画作成用参考資料展示。
- ・生徒図書委員による「おすすめ本ポスター」掲示
- ・1年生校外学習で都立中央図書館を訪問
- ・図書館に来る度、どこか景色が変わっており常に新しい発見があるよう、頻繁にテーマを変えた図書の展示を行っている。
- ・図書委員による読み聞かせや朗読劇、ビブリオバトルの実施。
- ・学校周辺の歴史等に関する資料の展示

【特別支援学校】

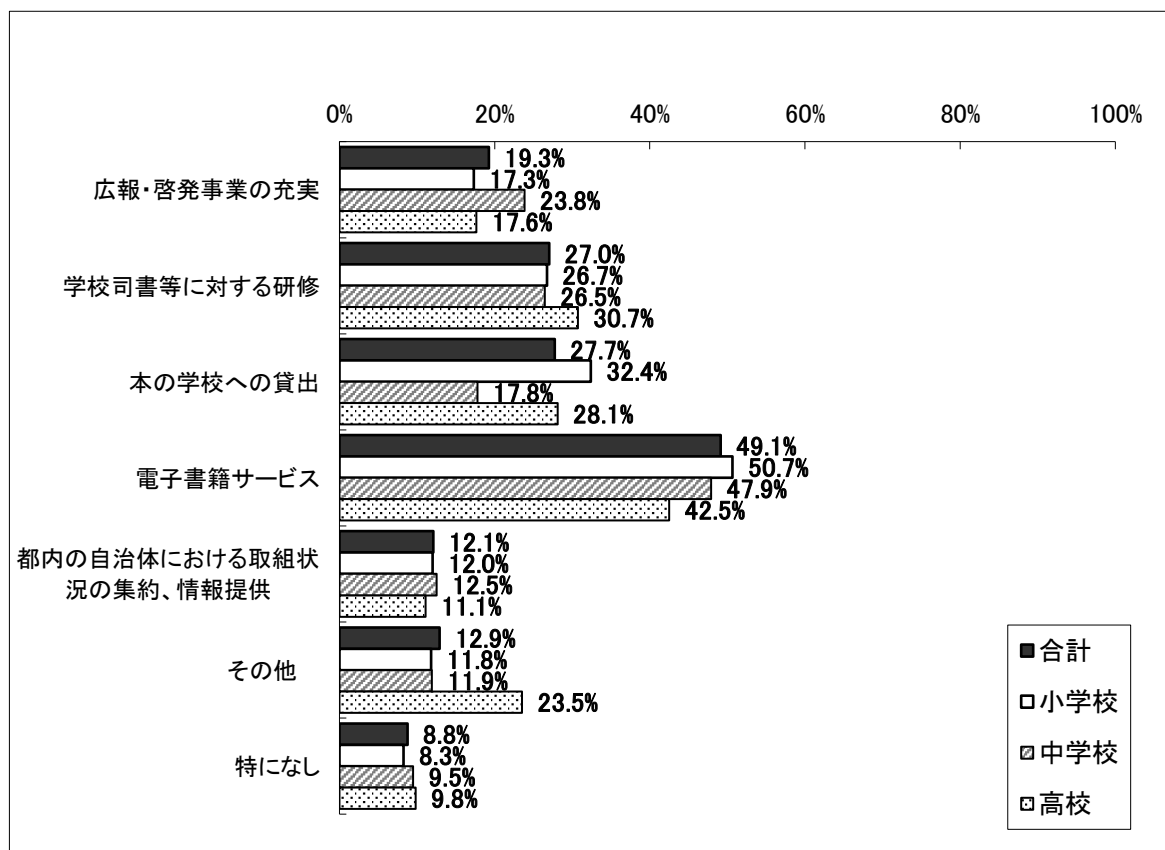
①デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

- ・一人1台端末電子図書利用の導入(市連携)
- ・一人1台端末にデジ図書がダウンロードできる
- ・教員の読み聞かせ動画を一人1台端末で視聴できるようにしている。
- ・図書館システムの導入にあたり、生徒の作業学習の時間に生徒たちが登録作業を行っている。
- ・PCの貸し出しで累計50冊以上借りた児童・生徒へゴールドカードの発行
- ・タッチパネルモニターを使ったデジタル新聞の設置

②読書環境整備、レイアウトの工夫等学校図書館等のリニューアルに係る取組

- ・「りんごの棚」を設置し、LLブックやわかりやすい本を設置した。
- ・音の絵本、触る絵本、仕掛け絵本等の充実
- ・総振り仮名のある図書や視覚情報の多いものを選書
- ・木目調の本棚で暖かい雰囲気を出すこと。・動線をしっかり確保して、開けた空間をつくる。
- ・ソファやマットを用意して、リラックスできる空間づくりを意識している。
- ・図書館以外の場所をのんびり読書コーナーとして設置
- ・食育コラボレーションコーナー 給食メニューと絵本の紹介
- ・盲学校なので、点字図書を自館で作成している。

15. 今後の子供の読書活動推進にあたり、都(都立図書館)に望む施策(充実・拡充含む)はありますか。(2つまで回答可)

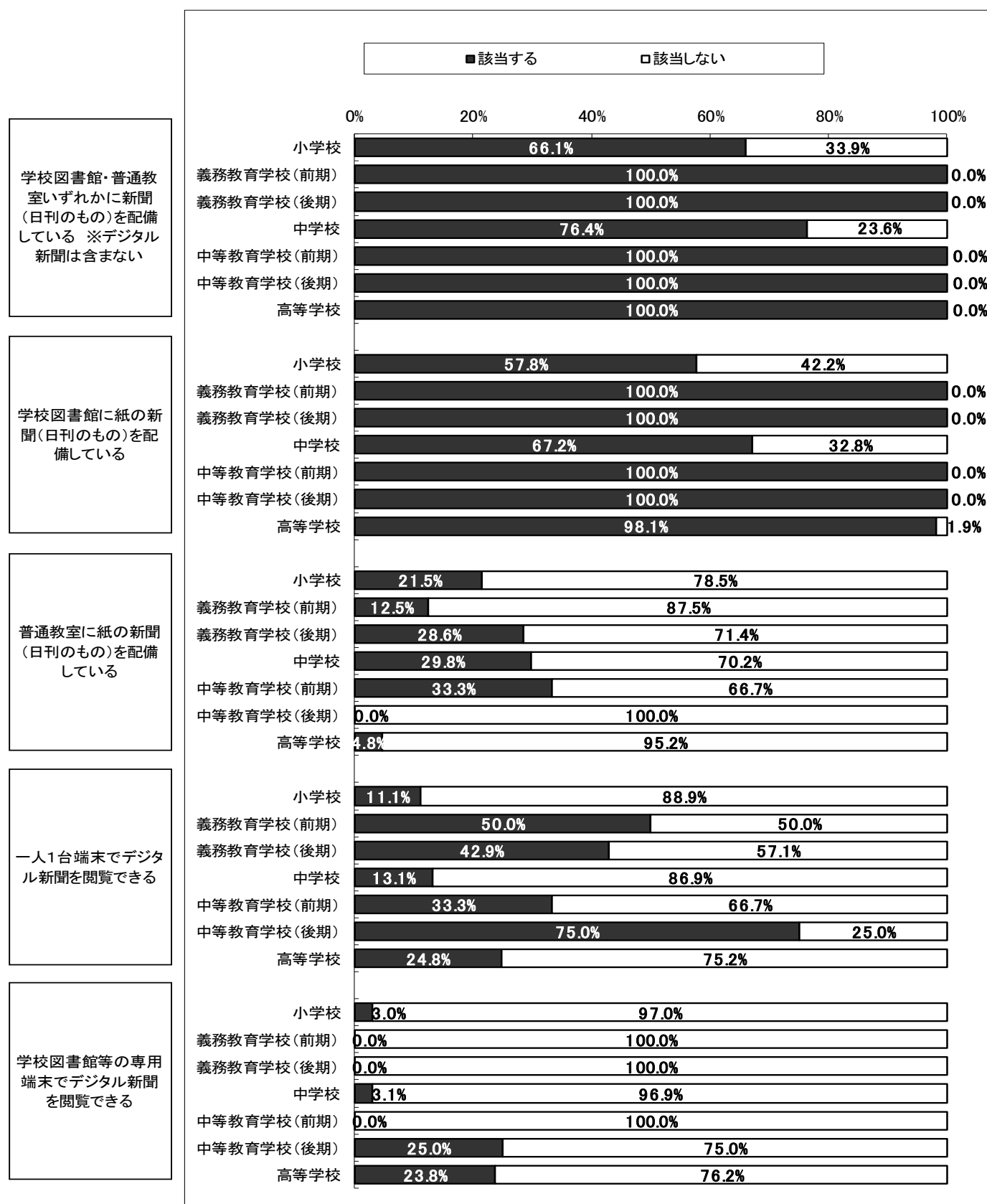


【その他】の具体例

- ・図書予算の拡充、新聞の配備
- ・各学校への学校司書の配置、常勤勤務化(出勤日数の増加を含む)
- ・ゆったり閲覧できる空間、レイアウトのアドバイス
- ・読書推進をするための時間的余裕の捻出方法
- ・子どもたちへの講演会
- ・読書記録アプリの導入
- ・生徒の資料を探すスキルを高めるプログラム
- ・インターネット回線の増強や図書館設備の改善
- ・学校図書館を活用した授業事例の共有
- ・学校司書としてすべきことや図書館利用促進のためのノウハウ
- ・島しょにおける割引価格での資料購入契約

<学校図書館における新聞の配備や活用の状況>

16. 新聞の配備状況



17.新聞の紙数

※学校全体で配備されている新聞の数(紙数×教室数とはしない。教室・学校図書館の重複も除く。)

新聞(日刊のもの)の配備校における平均配備紙数 (単位:紙)

小学校	義務教育学校(前期)	義務教育学校(後期)	中学校	中等教育学校(前期)	中等教育学校(後期)	高等学校
2.9	1.6	1.4	3.8	6.0	6.3	6.1

新聞(日刊以外のもの)の配備校における平均配備紙数 (単位:紙)

小学校	義務教育学校(前期)	義務教育学校(後期)	中学校	中等教育学校(前期)	中等教育学校(後期)	高等学校
1.0	0.8	1.1	0.8	2.3	1.8	1.2

＜文部科学省の第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」における学校図書館への新聞配備の目標(小学校等:2紙、中学校等:3紙、高等学校等:5紙)を下回る場合のみ回答＞

今後、目標紙数以上の新聞を配備する予定はありますか。 (単位:%)

	小学校	義務教育学校(前期)	義務教育学校(後期)	中学校
目標紙数を下回るが、今後、目標以上の新聞を配備する予定がある	19.1	12.5	14.3	13.8
目標紙数を下回るが、今後、目標以上の新聞を配備する予定がない	28.9	12.5	28.6	29.5
無回答 (目標紙数を下回らない場合を含む)	52.0	75.0	57.1	56.7

※中等教育学校は全校で目標紙数を上回る

※高等学校は全校で予算措置がされているため対象外

目標紙数を下回る理由を記載してください(自由記述)

- 予算が不足しているためという回答が多い。書籍を優先しているという回答もあった。
- 一人一台端末の導入により新聞記事やニュース等の情報をタブレット端末で得ようになり新聞を手にする児童等が見られなくなったため、ペーパーレス化のためという回答も複数あった。
- 設置場所や閲覧スペースの不足といった理由を挙げる学校もあった。
- 司書が常駐していないことや教職員の負担が大きいという管理上の理由も挙げられた。
- 特定の新聞社を選べないため、という回答もあった。
- 以前は置いていたが利用が少なかったため、需要がないため、小学校では内容が難しく手にとらないため子供新聞のみにしたという回答もあった。
- 島しょ地域の学校からは、日刊の配達が遅いという事情も報告された。

18.新聞の種類(該当の新聞を配備している学校数 ※複数回答可)

(単位:%)

	小学校	義務教育学校(前期)	義務教育学校(後期)	中学校	中等教育学校(前期)	中等教育学校(後期)	高等学校
全国紙	52.1	62.5	57.1	81.2	100.0	100.0	100.0
地方紙	9.2	0.0	0.0	18.8	66.7	50.0	56.2
小学生新聞 (子供新聞)	66.0	87.5	57.1	3.1	0.0	0.0	2.9
中学生新聞	0.4	37.5	57.1	41.4	66.7	50.0	21.9
高校生新聞	0.2	0.0	0.0	16.6	33.3	50.0	30.5
専門紙	2.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	10.5
外国語新聞	0.1	0.0	0.0	3.7	66.7	100.0	34.3
配備していない	15.5	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0

19. 新聞の活用状況

学習や読書活動において、新聞をどのように活用していますか。教科、学習テーマ、指導方法等、貴校での取組状況や成果について具体的にご記入ください(自由記述)

<授業等での活用>

- ・<国語>新聞の構成や内容の工夫等を読み取る単元が国語にあるので教材としている。
- ・<国語>新聞を作る単元があり、紙面の特徴を理解したり、見出しの付け方や割り付けなどを知ったりするときに活用している。
- ・<国語>読み取り資料として活用している。
- ・<国語>まわし読み新聞で新聞に親しみ、新聞というメディアについて考えている。
- ・<国語>投書を読み比べて考察し、実際に投書を作成して応募した。
- ・<国語>新聞記事と教科書の文学作品を合わせて読んで、文学作品の現代的意味を考えた。
- ・<国語>新聞記事ビンゴの実施
- ・<理科>天候の変化を予測するために天気図等を資料として活用している。
- ・<社会>時事問題にふれる際に活用している。
- ・<社会>新聞を電子黒板に表示して読ませ、解説する授業を行なっている。
- ・<総合的な学習の時間>SDGsの取り組みについて、新聞記事から探し出して詳細を調べている。
- ・<総合的な学習の時間>人権課題に関わる記事を活用し、人権学習を行っている。
- ・<図工>切れないように長くちぎる・丸めるといった取組
- ・<体育>体育の時間でのボール運びに活用
- ・<学級活動>陣地取りで活用
- ・<朝の時間>NIEタイムを設定して、新聞を読む機会をつくっている。
- ・<国語・社会・総合>新聞記事を比べて自分の考えを書くなど・紙の新聞や電子新聞を活用し、比較・検討している。新聞を取らずに携帯電話で新聞を読む家庭が多いので、紙との比較ができて良い。
- ・テーマで記事をスクラップすることで、調べ学習の資料の1つとして新聞を活用
- ・4コマ漫画をばらばらにしてお話作りに活用
- ・SDGsに関する記事を取り上げ、現実にはどのようなことが起こっているか考え、話し合う授業を実施
- ・全国の新聞を取り寄せ、実際に全国紙と地方紙の1面を比べることで、地方によって注目される出来事の違いを学習
- ・新聞のワークシートを使って、情報を正確に読みとる練習を実施
- ・1面のコラムを利用し自分の考えを書く学習
- ・「新聞から見る世界」という学校設定科目で使用。気になる記事を選び、自分なりに読み込んで内容をまとめる。
- ・小論文指導の教材として活用
- ・受験対策(小論文のテーマなど)として生徒同士の勉強での英字新聞の活用

<学校図書館での活用>

- ・調べ学習等で活用
- ・学校図書館に置き、図書委員会所属の児童がひとことメモや矢印など来館した児童に見てもらえるような工夫をしている。
- ・図書館に入ると、新聞の一面がすぐに目に入るようにしている
- ・図書室前と高学年の教室前に新聞を置いており、朝読書等で読んでいる児童がいる。
- ・記事に合わせた本の展示
- ・図書委員が当番制で前日の新聞5紙で気になった記事を図書館前の廊下に掲示して紹介している。

<その他の取組>

- ・生徒が興味をもつような内容を掲示等で紹介している。
- ・NIE教育を校内研究のテーマに掲げ、推進を図っている。
- ・「友達に知らせたい記事」というテーマで、日直が、朝の会で、新聞記事を紹介している。
- ・日直が終学活で、気になった記事を読み上げる。
- ・朝のスピーチの題材として活用
- ・区の新聞コンクールに小学5年生全員で応募している
- ・新聞記事データベースを契約し、調べ学習や探究学習に使用しているほか、教職員の授業内容充実にも活用している。
- ・ディベート、ディスカッションを取り入れた入試対策等を行っている